

# 社会に参画しようとする生徒を育成するために

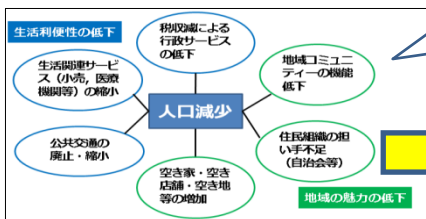
## 【単元名】地域の未来をえがく ～よりよい町づくりを目指して～

### 目指す姿 (イメージ)

知識及び技能	・よりよい町づくりについて、地域の人の思いを共有し協働して活動することで、持続可能な取組となることに気付く。
思考力、判断力、表現力等	・よりよい町づくりについて、理想や隔たりから課題を設定し、目的を明確にして必要な情報を適切に収集し、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら解決に向けて考える。 ・根拠となる事実や事例を挙げながら、相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現する。
学びに向かう力、人間性等	・自分たちの小さなアクションが未来に向けて、よりよい町づくりにつながっている確信と達成感を抱いている。

### 課題の設定

生徒の実態を把握し、興味・関心等から、課題意識をもたせる。



#### 課題との出会わせ方がポイント!!

これまでの生徒の考え方との「ずれ」や「隔たり」を感じさせたり、対象への「憧れ」や「可能性」を感じさせたりする工夫(他教科等との関連、外部人材の活用、体験活動、資料活用【映像や写真等】)をする。

(生徒が考えた課題)

人口減少 ⇒ 地域コミュニティの機能が低下すると「地域の魅力がなくなる」

「不思議だ」「どうしてかな」「知らなかった」等、現実の状況と理想の姿を対比させる。

課題: 「よりよい町づくり」について考えよう

### 情報の収集

必要な情報を取り出したり、収集したりする。



#### 他地域の実践

自分たちの地域と実態が同じ、異なる地域の情報を参考にする

- ・情報の必要性を判断する。
- ・確実に情報を収集するために、方略を立てる。
- ・活用可能な多様な情報源を見つけ出す。

#### 人口減少がもたらす影響

地域の経済活動の減速、社会保障制度の崩壊、行政機能の低下等

#### ICTも使う授業づくり

- ・同時にメッセージや動画を送れ(保存もできる)、リアルタイムでの音声通話ができ、より緊密な意思疎通が図れる。
- ・最新情報を入手できたり、文章だけで理解できないことも映像や音声等が効果的な手立てとなったりする。

### 整理・分析

収集した情報を整理したり分析したりして思考する。



「地域サミット」をすることが目的でなく、必然性のある学びにしよう  
生徒が設定する課題は、必ずしも1つの正解が存在するわけではなく、その解決のために必要な知識等は、学校で学習する内容に限られません。地域の方等との対話等を通じて、解決に向けた考えを深め、納得解や最適解を見いだしていくことができます。

#### 「オンライン地域サミット」で提案しよう

「よりよい町づくり」のためには、人々の「つながり」が大切である。  
自分達で実行可能な取組を提案する。

### まとめ

#### ・表現

気付きや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する。



自分たちのアクションが未来に向け「よりよい町づくり」につながっていく確信と達成感が持てるといいですね。

「地域の課題を発見する」「なぜ課題が生じているのか」「どうすれば解決するのか」「解決策は適切であるか」等を踏まえて、実行可能な取組を提案しましょう。

#### 振り返り



#### 「オンライン地域サミット」を開催

異なる視点(地域住民・行政職員・保護者等)からの助言により、考えを深めたり、新たな発想を得たりすることができる。

#### 〈「振り返り」の重要性について〉

自らの学びを意味付けたり価値付けたりして自己変容を自覚し、次への学びへと向かう「学びに向かう力」を培います。また、生徒の成長や思い・願い、問題意識を知ることができ、実態把握の情報源となります。

#### 〈指導と評価の一体化について〉

「子供たちにどういった力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、教員が指導の改善を図るとともに、生徒自身が自らの学びを振り返って次の学びに向かうことができるようにするためには、学習評価の在り方が重要です。

考え方や事例が解説してあります。

#### 課題の更新

課題をバラバラで考えるのではなく、関連付けで考えることができます。

SDGsの視点から地域の課題を見つめ直し、未来の姿を考えていこう。

(例) After コロナに対応した持続可能な地域社会へのチャレンジ



学校で

家庭学習で

学校で

家庭学習で

学校で